

都政課題解決スタートアップピッチイベント

UPGRADE with TOKYO

第 48 回ピッチイベント 募集要項詳細

【募集期間】

2025年7月3日（木）～2025年7月23日（水）18 時（予定）

【応募方法】

UPGRADE with TOKYO ホームページの第48回 募集ページ（<https://upgrade-tokyo.metro.tokyo.lg.jp/theme/?theme=48>）内の応募フォームリンク

（<https://forms.office.com/e/HNgTvBXDn7>）より、応募されるスタートアップのピッチ登壇予定者が、応募フォームに必要事項をご記入いただき、ピッチ素案資料と合わせてご提出をお願いします。

スタートアップのピッチ登壇予定者に対し、TOKYO UPGRADE SQUARE（TUS）の支援もご提供できるよう、応募に当たっては、メンバー登録をしていただくことを推奨します。メンバー未登録の方は、募集ページ（<https://upgrade-tokyo.metro.tokyo.lg.jp/theme/?theme=48>）内のTUS メンバー登録リンク（<https://upgrade-square.jp/apply>）より、メンバーの登録をお願いします。

※TOKYO UPGRADE SQUARE（TUS）はUPGRADE with TOKYO の兄弟事業であり、行政機関×スタートアップの連携・協働を促進し、スタートアップの最適なプロダクトを社会へフィットさせることを目指す、官民連携の場を提供しています（ピッチイベントもTUS で開催中）。

スタートアップのピッチ登壇予定者に対し、TUS の支援もご提供できるよう、応募に当たってはメンバー登録をお願いしています。

<TOKYO UPGRADE SQUARE（TUS）で提供するサービス>

- コワーキング・交流スペースの利用（様々な属性のメンバーと交流できます）
- TUS オリジナルイベントへの参加（官民連携促進や事業成長に資するセミナー、パネルディスカッション、行政機関からのメンタリング等）
- 企業からの要望に応じて、スタートアップ支援の専門家により、行政機関に対する提案内容のブラッシュアップや経営課題の解決に資するアドバイスを提供

【応募及び問合せ先】

都政課題解決スタートアップピッチイベント UPGRADE with TOKYO 事務局

E-mail：upgrade.with.tokyo_jimukyoku@tohmatu.co.jp

【イベント概要】

審査を通過した5社のスタートアップによるピッチイベントを下記の通り開催します。

●日時 2025年8月15日（金）14:00～16:45を予定（会場集合は11:00～12:00を予定）

●主な内容

- 1 スタートアップによるピッチ（5社を予定）
- 2 結果発表及び審査委員講評
- 3 フォトセッション

【開催場所】

TOKYO UPGRADE SQUARE（新宿区西新宿二丁目6番1号新宿住友ビル25階）

1. 本事業の目的

東京が抱える様々な都政課題を解決するためには、民間から生まれた画期的な製品・サービスを活用することが重要です。

そこで東京都では、スタートアップによる都政課題解決に向けた製品等のピッチや、行政機関、VCや企業等との交流の場を創出するイベントを2019年12月から開催しています。

ピッチ審査で審査委員から都政課題の解決に資すると認められたスタートアップは、事業の協働等に向けて具体的な交渉を進めるきっかけを持つことができます。ぜひご応募ください。

2. 主な応募対象

応募条件は、以下のとおりです。応募には、業種の制限はありません。

応募条件に該当するか判断に迷う場合は、運営事務局までご相談ください。

- 概ね創業後10年未満又は第二創業後10年未満であること
（注）一般社団法人、合同会社、個人事業主等も含みます。
また、第二創業には、製品・サービスの新リリースや大きな改良も含みます。
- 応募テーマに合致した製品・サービスを有し、最新バージョンをリリースしてから5年以内であること
- 公序良俗に反する事業を行うなど、東京都が支援することが適さないと判断した企業等ではないこと

※ 過去に本事業で優勝している場合については応募対象外とします

3. 応募テーマ

『メンタルのセルフケア支援ツールの導入によるパフォーマンス向上』（下水道局）

快適な生活環境と都市の水環境を支える下水道は、都民生活や東京の都市活動になくてはならない重要な社会インフラです。東京都下水道局では、24時間365日休むことなく稼働する下水道施設の運転・維持管理を行っています。また、施設の老朽化対策や激甚化する豪雨に対する浸水対策、首都直下地震などに備えた震災対策等に取り組んでいます。

お客さまに最良のサービスを安定的に提供するためには、職員一人ひとりが良好なコンディションを維持することが求められます。そのため、私たちはこれまで以上に職員の健康の維持・向上を図っていききたいと考えています。具体的には、職員一人ひとりの状態に応じたメンタルの自己管理の支援を検討しています。しかし、自らがどのようなコンディションにあり、どのようなケアが必要かを的確に把握することは容易ではありません。

そこで、ストレス値やエンゲージメントの現状や推移を可視化し、適したプログラムを提供するセルフケア支援ツールなどの新しいデジタル技術やAI等を活用することにより、職員個人と組織のパフォーマンスを向上させることができるシステム・サービスを募集します。

■ 期待するシステム・サービスの機能の例

- ・ 交替制勤務など下水道局の特性を勘案し、オンラインでメンタルのセルフケアに関するプログラムを提供できる機能
- ・ ストレス値やワークエンゲージメント等、定期的に利用者のコンディションを測定できる機能
- ・ 測定結果に基づき、職員や所属する組織へ改善提案ができる機能

4. 主な審査基準

次のような観点で審査し、5社（予定）を選出します。

- ・ 製品・サービスが上記応募テーマに合致しているか
- ・ 製品・サービスを用いて東京都や区市町村と協働することにより、都政課題の解決に資することが見込まれるか
- ・ 製品・サービスに新規性・独創性があるか、ソーシャルインパクトがあるか
- ・ 財務状況等に問題がなく、製品・サービスの生産(提供)計画に適切性があるか

応募者全員に対し、事務局から結果を通知します。

5. 応募手続き

(1) 応募スケジュール (予定)

応募期間	2025年7月3日（木）～2025年7月23日（水）18時（予定）
書類審査結果通知	2025年7月31日（木）頃を予定
プレピッチ審査 (ピッチイベント登壇者選出)	2025年8月6日（水）を予定 ※オンラインによる実施

(注) 書類審査通過者には事務局等に対するプレピッチ(オンライン)を実施していただきます。

参加方法は審査通過者に別途ご連絡いたします。

応募に当たっては、8月6日（水）の日程を空けておいていただきますようお願いいたします。

(2) 提出書類

応募フォームへの記入及び公開可能なピッチ資料ドラフト版（以下の説明を含む。pdf ファイル形式。10MB 以内。）

- ・ 製品・サービスの名称・概要
- ・ 製品・サービスが応募テーマに合致していること
- ・ 製品・サービスを用いて東京都や区市町村と協働することが都政課題解決に資すること
- ・ 東京都及び区市町村と契約する場合の内容や金額別プラン
- ・ 東京都及び区市町村との役割分担
- ・ 東京都及び区市町村との協働や製品・サービスの導入までの全体スケジュール

(注) 公開可能なピッチ資料ドラフト版は、少なくとも書類審査で利用します。

応募者全員が提出してください。

また、プレピッチ前、ピッチ本番前に、公開可能なピッチ資料を出し直すことができます。

(3) 提出方法

<https://forms.office.com/e/HNgtvBXDn7>より、必要事項を応募フォームにご記入の上、ピッチ資料ドラフト版と合わせてお申し込みください。

6. その他

状況により、ピッチイベントをオンラインで開催する可能性があります。

参考(メンタルのセルフケア支援ツールの導入によるパフォーマンス向上)

現状の課題

- ・私たちは、職員一人ひとりの状態に応じたメンタルの自己管理を支援することにより、これまで以上に職員の健康の維持・向上を図っていきたいと考えている。
- ・しかし、自分自身がどのようなコンディションにあり、どのようなケアが必要かを的確に把握することは容易ではない。



解決策

- ・新しいデジタル技術やA I 等を活用した、定期的なコンディショニングチェックにより、職員一人ひとりのストレス値やエンゲージメントの現状・推移を可視化
- ・個人の状態に応じて、セルフケアのプログラムを提供することにより、職員個人と所属する組織のパフォーマンスを向上



期待するシステム・サービスの機能の例

○セルフケアプログラムの提供

- ・気分をリフレッシュさせる方法やストレスとの付き合い方など、メンタルのセルフケアに関するプログラムを提供するサービス
- ・下水道局では交替制勤務に従事する職員がいることから、業務を調整しながら自身の好きなタイミングでプログラムを受講できるように、主にオンラインでのサービスの提供を希望



○コンディションの測定

- ・ストレス値やワークエンゲージメントなどを定期的なチェックで測定し、自身の状態を可視化できる機能
- ・利用者へのヒアリングやインタビューなど、組織の課題を的確に把握するためのサービス



○測定結果の活用

- ・職員一人ひとりの状態を分析し、職員個人や所属する組織に対しておすすめのプログラムなど改善策を提案するサービス